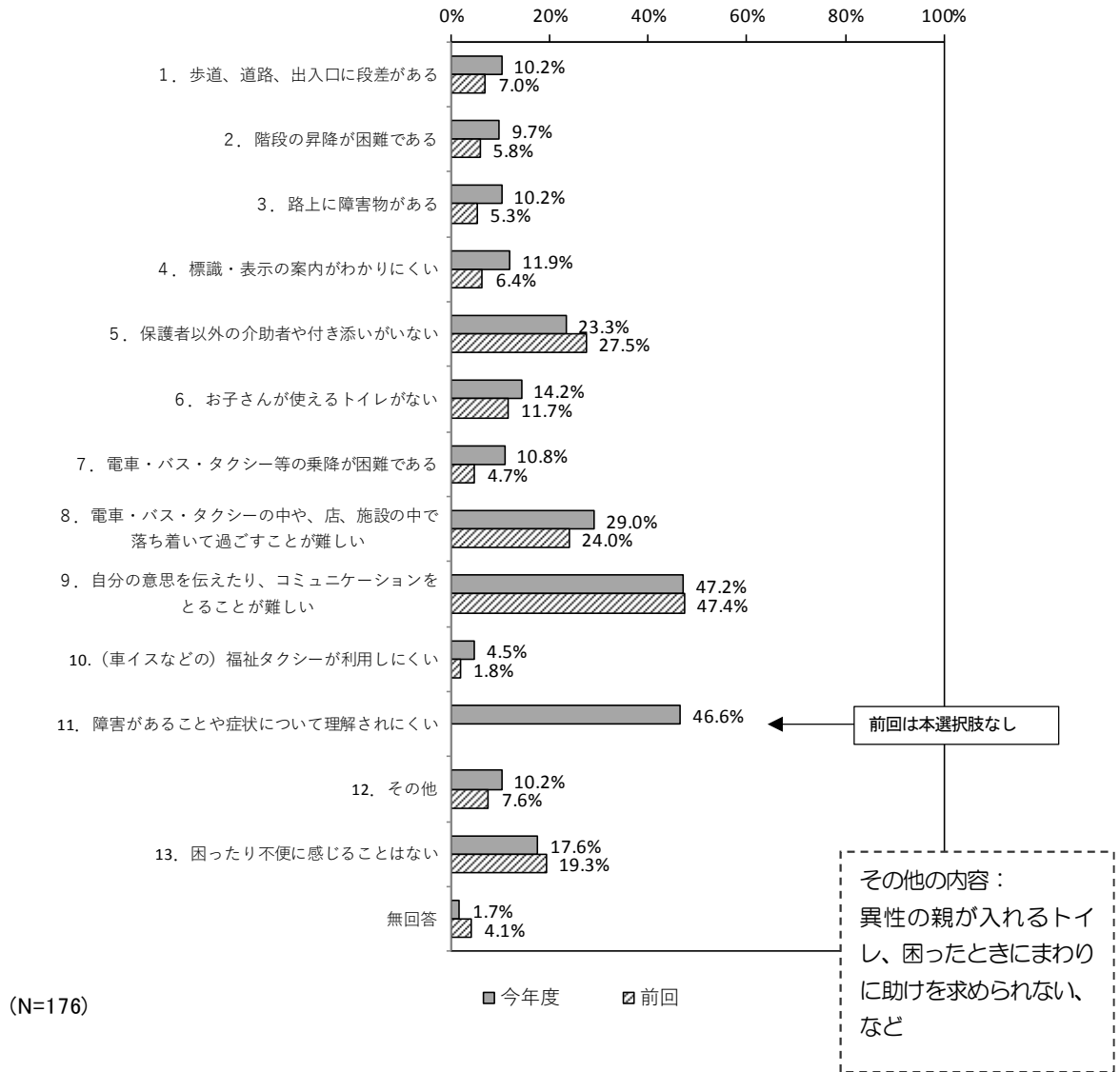


問 19 お子さんと一緒に、またはお子さんが一人で外出するときに困ったり不便に感じたりすることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. 歩道、道路、出入口に段差がある | 2. 階段の昇降が困難である |
| 3. 路上に障害物がある | 4. 標識・表示の案内がわかりにくい |
| 5. 保護者以外の介助者や付き添いがいない | 6. お子さんが使えるトイレがない |
| 7. 電車・バス・タクシー等の乗降が困難である | 8. 電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい |
| 9. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい | 10. (車イスなどの)福祉タクシーが利用しにくい |
| 11. 障害があることや症状について理解されにくい | 12. その他 |
| 13. 困ったり不便に感じることはない | |

ソフト面での困難・不便さを感じている方が多い

お子さんと一緒に、またはお子さんが一人で外出するときに困ったり不便に感じたりすることについては、「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」「障害があることや症状について理解されにくい」がそれぞれ約47%となっています。次いで、「電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい」が約29%、「保護者以外の介助者や付き添いがいない」が約23%となっています。コミュニケーションや障害理解、付き添いの支援など、ソフト面での困難や不便さを感じている方が多いことがわかります。



(N=176)

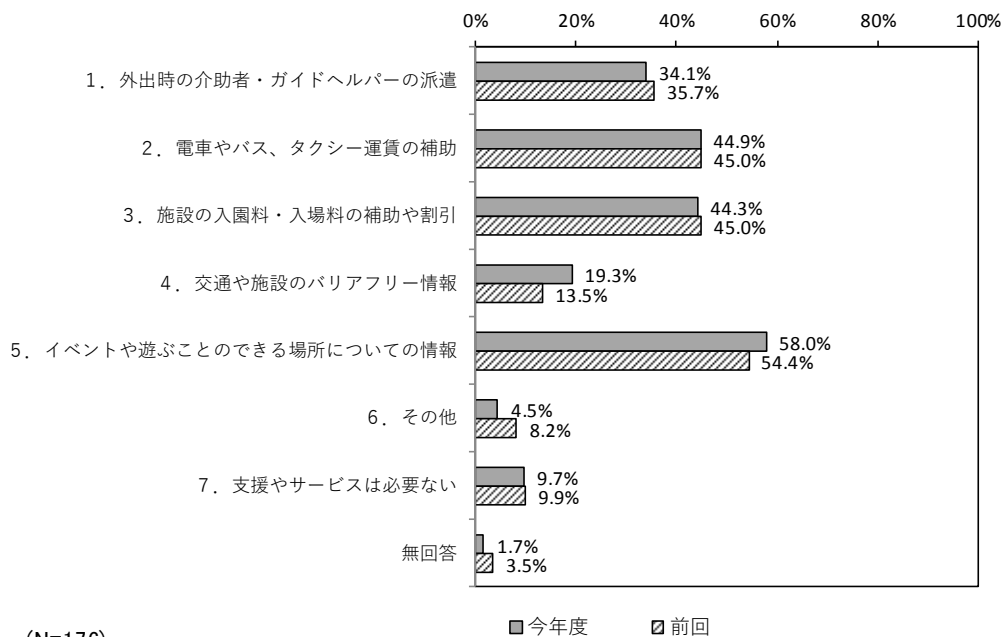
児童	回答者数														
	人数	1. 歩道、道路、出入口に段差がある	2. 階段の昇降が困難である	3. 路上に障害物がある	4. 標識・表示の案内がわかりにくい	5. 保護者以外の介助者や付き添いがいない	6. お子さんが使えるトイレがない	7. 電車・バス・タクシー等の乗降が困難である	8. 電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい	9. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい	10. (車イスなどの) 福祉タクシーが利用しにくい	11. 障害があることや症状について理解されにくい	12. その他	13. 困ったり不便に感じることはない	無回答
人数	176	18	17	18	21	41	25	19	51	83	8	18	31	3	
構成比		10.2%	9.7%	10.2%	11.9%	23.3%	14.2%	10.8%	29.0%	47.2%	4.5%	46.6%	10.2%	17.6%	1.7%

問 20 お子さんとの外出時にどのような支援やサービスがあるとよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 外出時の介助者・ガイドヘルパーの派遣
2. 電車やバス、タクシー運賃の補助
3. 施設の入園料・入場料の補助や割引
4. 交通や施設のバリアフリー情報
5. イベントや遊ぶことのできる場所についての情報
6. その他
7. 支援やサービスは必要ない

「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が約58%

お子さんとの外出時にあると思う支援やサービスについては、「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が約58%で最も多く、次いで「電車やバス、タクシー運賃の補助」が約45%、「施設の入園料・入場料の補助や割引」が約44%となっています。



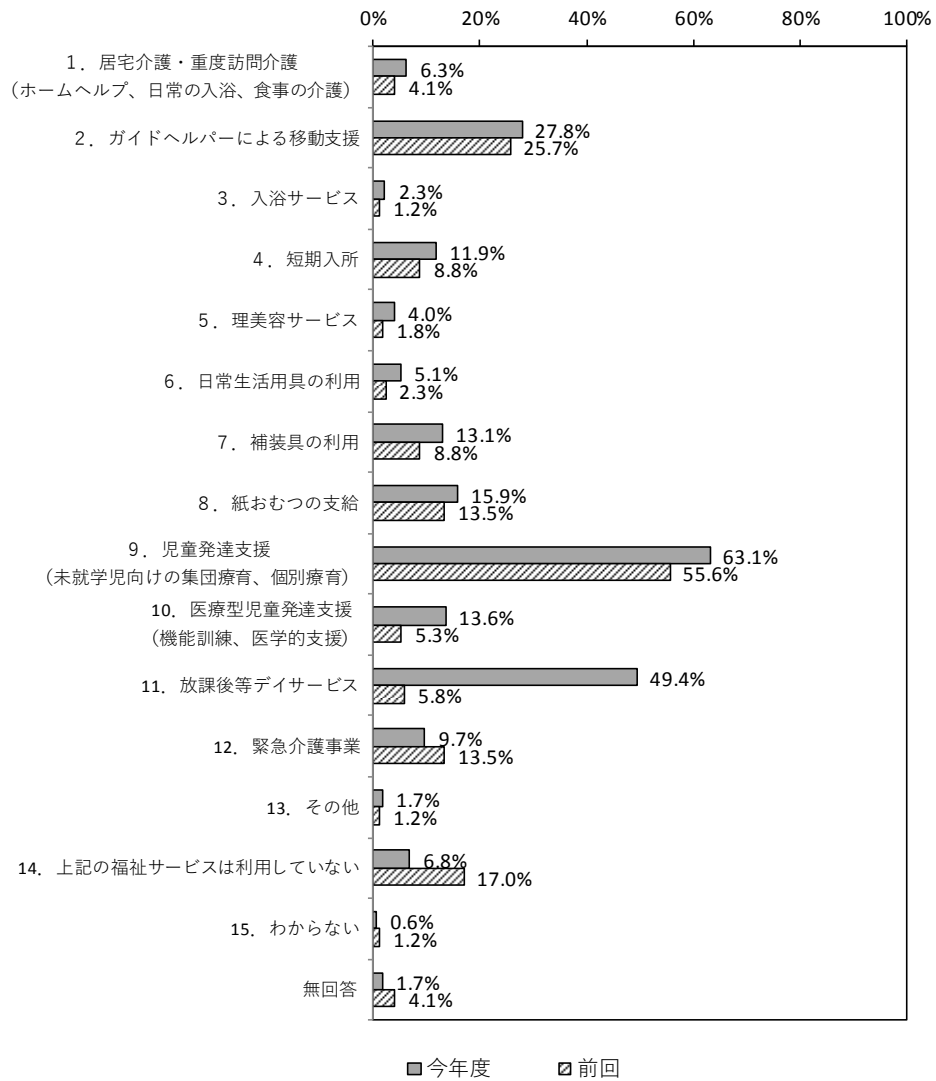
		回答者数	1. 外出時の介助者・ガイドヘルパーの派遣	2. 電車やバス、タクシー運賃の補助	3. 施設の入園料・入場料の補助や割引	4. 交通や施設のバリアフリー情報	5. イベントや遊ぶことのできる場所についての情報	6. その他	7. 支援やサービスは必要ない	無回答
児童	人数	176	60	79	78	34	102	8	17	3
	構成比		34.1%	44.9%	44.3%	19.3%	58.0%	4.5%	9.7%	1.7%

問 21 以下のサービスを利用していますか（したことはありますか）。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 居宅介護・重度訪問介護（ホームヘルプ、日常の入浴、食事の介護） | 2. ガイドヘルパーによる移動支援 |
| 3. 入浴サービス | 4. 短期入所 |
| 5. 理美容サービス | 6. 日常生活用具の利用 |
| 7. 補装具の利用 | 8. 紙おむつの支給 |
| 9. 児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育） | 10. 医療型児童発達支援（機能訓練、医学的支援） |
| 11. 放課後等デイサービス | 12. 緊急介護事業 |
| 13. その他 | 14. 上記の福祉サービスは利用していない（したことはない） |
| 15. わからない | |

「児童発達支援」が約63%

利用している・利用したことがあるサービスについては、「児童発達支援」が約63%で最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が約49%、「ガイドヘルパーによる移動支援」が約28%となっています。



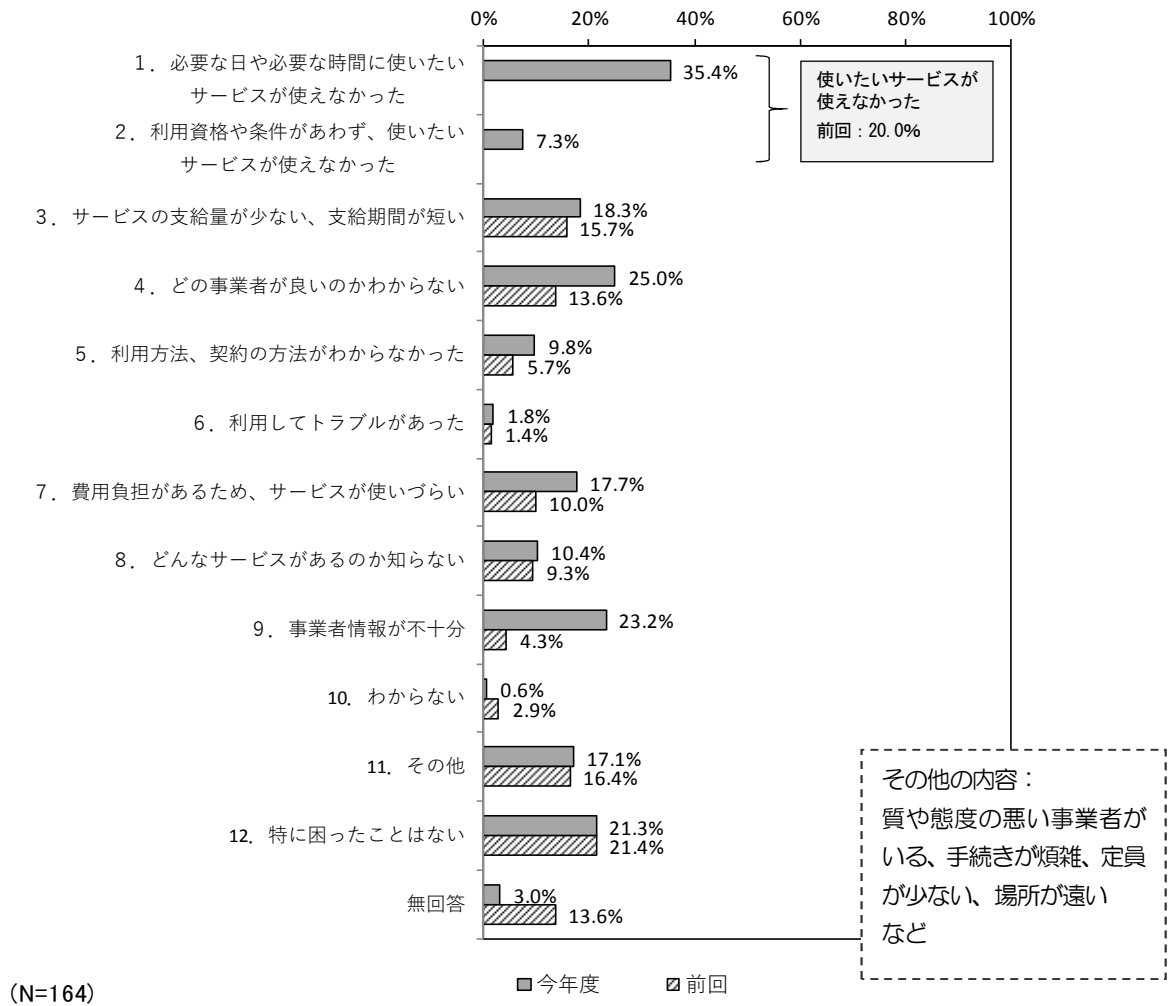
児童	回答者数		1. 居宅介護・重度訪問介護	2. ガイドヘルパーによる移動支援	3. 入浴サービス	4. 短期入所	5. 理美容サービス	6. 日常生活用具の利用	7. 補装具の利用	8. 紙おむつの支給	9. 児童発達支援	10. 医療型児童発達支援	11. 放課後等デイサービス	12. 緊急介護事業	13. その他	14. 上記の福祉サービスは利用していない	15. わからない	無回答
	人数	構成比																
	176		11	49	4	21	7	9	23	28	111	24	87	17	3	12	1	3
			6.3%	27.8%	2.3%	11.9%	4.0%	5.1%	13.1%	15.9%	63.1%	13.6%	49.4%	9.7%	1.7%	6.8%	0.6%	1.7%

問22 問21のサービスを利用しているお子さんについてお聞きします。サービスを利用するときに何か困ったことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった
2. 利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった
3. サービスの支給量が少ない、支給期間が短い
4. どの事業者が良いのかわからない
5. 利用方法、契約の方法がわからなかった(わかりにくかった)
6. 利用してトラブルがあった
7. 費用負担があるため、サービスが使いづらい
8. どんなサービスがあるのか知らない
9. 事業者情報が不十分
10. わからない
11. その他
12. 特に困ったことはない

「必要な時に使いたいサービスが使えなかった」が約35%

サービスを利用するときに困ったことについては、「必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった」が約35%で最も多く、次いで「どの事業者が良いのかわからない」が約25%、「事業者情報が不十分」が約23%となっています。



(N=164)

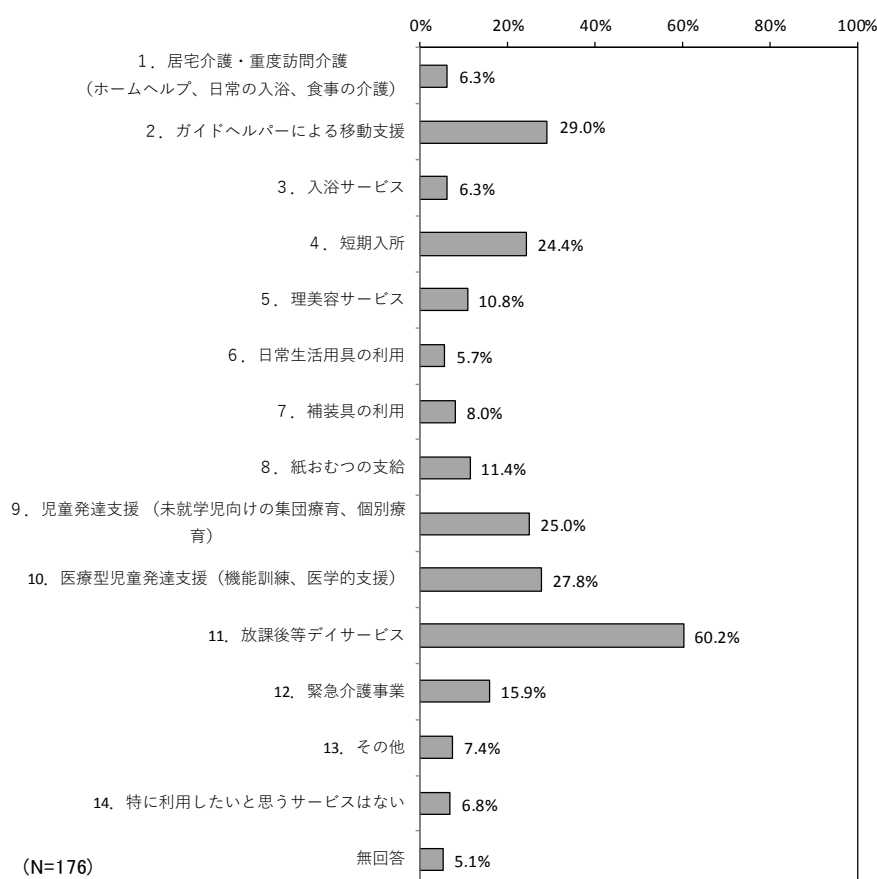
児童	回答者数													
	人数	1. 必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった	2. 利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった	3. サービスの支給量が少ない、支給期間が短い	4. どの事業者が良いのかわからない	5. 利用方法、契約の方法がわからなかった	6. 利用してトラブルがあった	7. 費用負担があるため、サービスが使いづらい	8. どんなサービスがあるのかわからない	9. 事業者情報が不十分	10. わからない	11. その他	12. 特に困ったことはない	無回答
	164	58	12	30	41	16	3	29	17	38	1	28	35	5
	構成比	35.4%	7.3%	18.3%	25.0%	9.8%	1.8%	17.7%	10.4%	23.2%	0.6%	17.1%	21.3%	3.0%

問23 今後、以下のサービスの中で、利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------|
| 1. 居宅介護・重度訪問介護（ホームヘルプ、日常の入浴、食事の介護） | 2. ガイドヘルパーによる移動支援 |
| 3. 入浴サービス | 4. 短期入所 |
| 5. 理美容サービス | 6. 日常生活用具の利用 |
| 7. 補装具の利用 | 8. 紙おむつの支給 |
| 9. 児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育） | 10. 医療型児童発達支援（機能訓練、医学的支援） |
| 11. 放課後等デイサービス | 12. 緊急介護事業 |
| 13. その他 | 14. 特に利用したいと思うサービスはない |

「放課後等デイサービス」が約60%

今後利用したいサービスについては、「放課後等デイサービス」が約60%で最も多く、次いで「ガイドヘルパーによる移動支援」が約29%、「医療型児童発達支援」が約28%となっています。



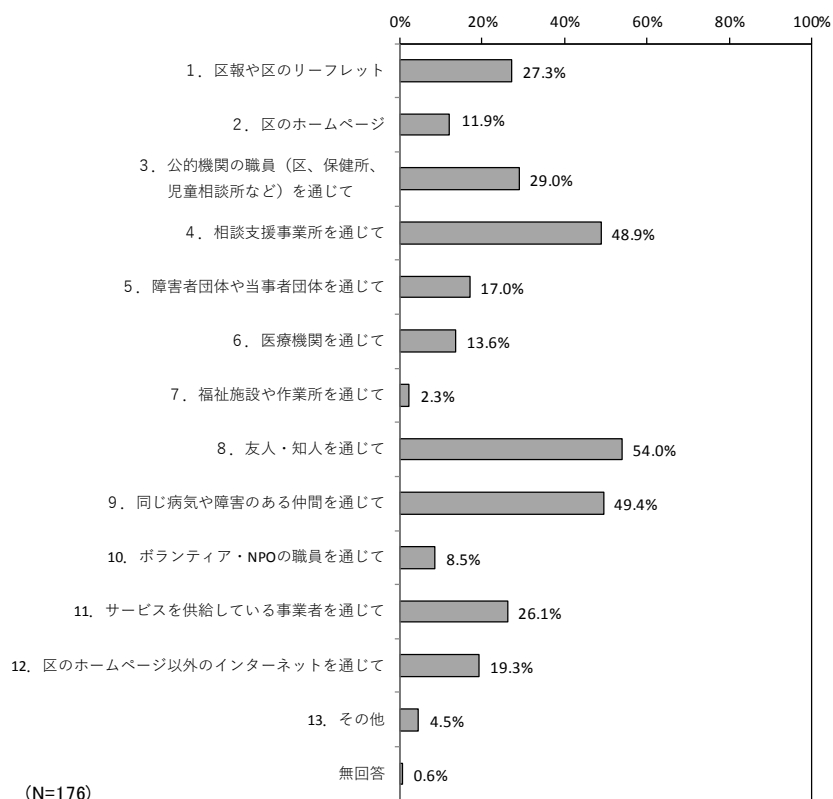
児童	回答者数		1. 居宅介護・重度訪問介護	2. ガイドヘルパーによる移動支援	3. 入浴サービス	4. 短期入所	5. 理美容サービス	6. 日常生活用具の利用	7. 補装具の利用	8. 紙おむつの支給	9. 児童発達支援	10. 医療型児童発達支援	11. 放課後等デイサービス	12. 緊急介護事業	13. その他	14. 特に利用したいと思うサービスはない	無回答
	人数	構成比															
	176		11	51	11	43	19	10	14	20	44	49	106	28	13	12	9
			6.3%	29.0%	6.3%	24.4%	10.8%	5.7%	8.0%	11.4%	25.0%	27.8%	60.2%	15.9%	7.4%	6.8%	5.1%

問 24 発達に関する不安や障害のこと、お子さんが使えるサービスのことについて、どのように情報を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 区報や区のリーフレット | 2. 区のホームページ |
| 3. 公的機関の職員（区、保健所、児童相談所など）を通じて | 4. 相談支援事業所を通じて |
| 5. 障害者団体や当事者団体を通じて | 6. 医療機関を通じて |
| 7. 福祉施設や作業所を通じて | 8. 友人・知人を通じて |
| 9. 同じ病気や障害のある仲間を通じて | 10. ボランティア・NPOの職員を通じて |
| 11. サービスを供給している事業者を通じて | 12. 区のホームページ以外のインターネットを通じて |
| 13. その他 | |

情報は「友人・知人」「同じ病気・障害の仲間」「相談支援事業所」から

お子さんの発達に関する不安や障害のこと、お子さんが使えるサービスについての情報入手方法については、「友人・知人を通じて」が約54%、「同じ病気や障害のある仲間を通じて」「相談支援事業所を通じて」がともに約49%となっています。



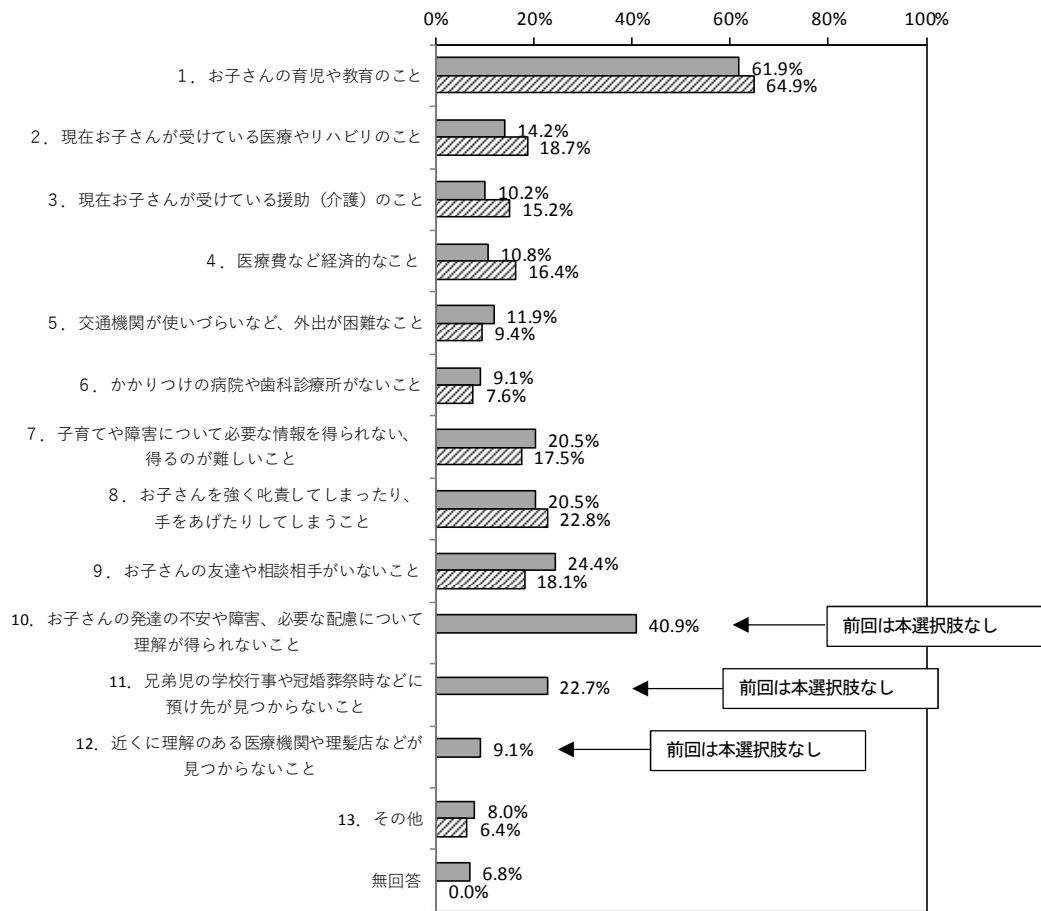
児童	回答者数														
	人数	1. 区報や区のリーフレット	2. 区のホームページ	3. 公的機関の職員（区、保健所、児童相談所など）を通じて	4. 相談支援事業所を通じて	5. 障害者団体や当事者団体を通じて	6. 医療機関を通じて	7. 福祉施設や作業所を通じて	8. 友人・知人を通じて	9. 同じ病気や障害のある仲間を通じて	10. ボランティア・NPOの職員を通じて	11. サービスを供給している事業者を通じて	12. 区のホームページ以外のインターネットを通じて	13. その他	無回答
	176	48	21	51	86	30	24	4	95	87	15	46	34	8	1
	構成比	27.3%	11.9%	29.0%	48.9%	17.0%	13.6%	2.3%	54.0%	49.4%	8.5%	26.1%	19.3%	4.5%	0.6%

問 25 お子さんのことで現在悩みごとや困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. お子さんの育児や教育のこと
2. 現在お子さんが受けている医療やリハビリのこと
3. 現在お子さんが受けている援助（介護）のこと
4. 医療費など経済的なこと
5. 交通機関が使いづらいなど、外出が困難なこと
6. かかりつけの病院や歯科診療所がないこと
7. 子育てや障害について必要な情報を得られない、得るのが難しいこと
8. お子さんを強く叱責してしまったり、手をあげたりしてしまうこと
9. お子さんの友達や相談相手がないこと
10. お子さんの発達の不安や障害、必要な配慮について理解が得られないこと
11. 兄弟児の学校行事や冠婚葬祭時に預け先が見つからないこと
12. 近くに理解のある医療機関や理髪店などが見つからないこと
13. その他

「お子さんの育児や教育のこと」が約62%

お子さんのことでの現在の悩みごとや困ったことについては、「お子さんの育児や教育のこと」が約62%で最も多く、次いで「お子さんの発達の不安や障害、必要な配慮について理解が得られないこと」が約41%となっています。



(N=176)

■ 今年度 ▨ 前回

その他の内容：
 家族の理解がない、学校でのトラブル、保育園・幼稚園に入れず、子育てと仕事との両立など

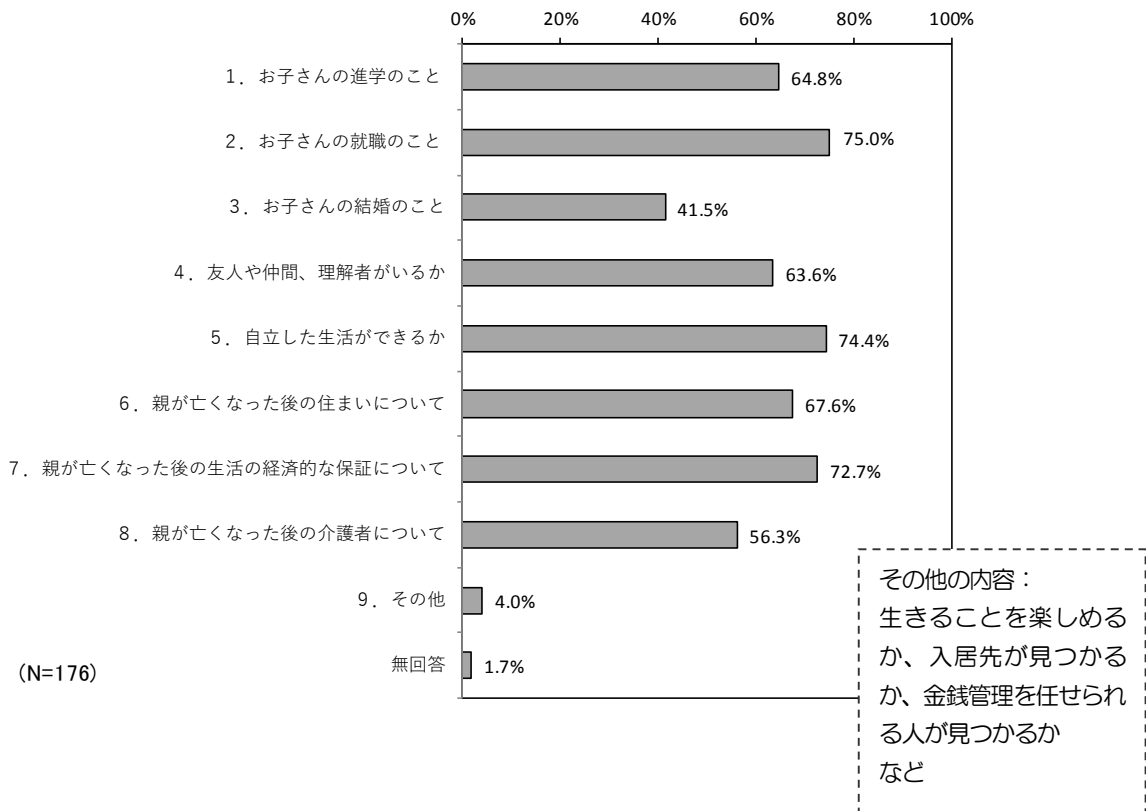
児童	回答者数														
	人数	176	109	25	18	19	21	16	36	36	43	72	40	16	14
構成比		61.9%	14.2%	10.2%	10.8%	11.9%	9.1%	20.5%	20.5%	24.4%	40.9%	22.7%	9.1%	8.0%	6.8%

問 26 お子さんの将来のことで不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. お子さんの進学のこと | 2. お子さんの就職のこと |
| 3. お子さんの結婚のこと | 4. 友人や仲間、理解者がいるか |
| 5. 自立した生活ができるか | 6. 親が亡くなった後の住まいについて |
| 7. 親が亡くなった後の生活の経済的な保証について | 8. 親が亡くなった後の介護者について |
| 9. その他 | |

就職や経済的な保証など、自立に関する不安が多い

お子さんの将来のことで不安に思うことについては、「お子さんの就職のこと」が約75%、「自立した生活ができるか」が約74%、「親が亡くなった後の生活の経済的な保証について」が約73%となっています。



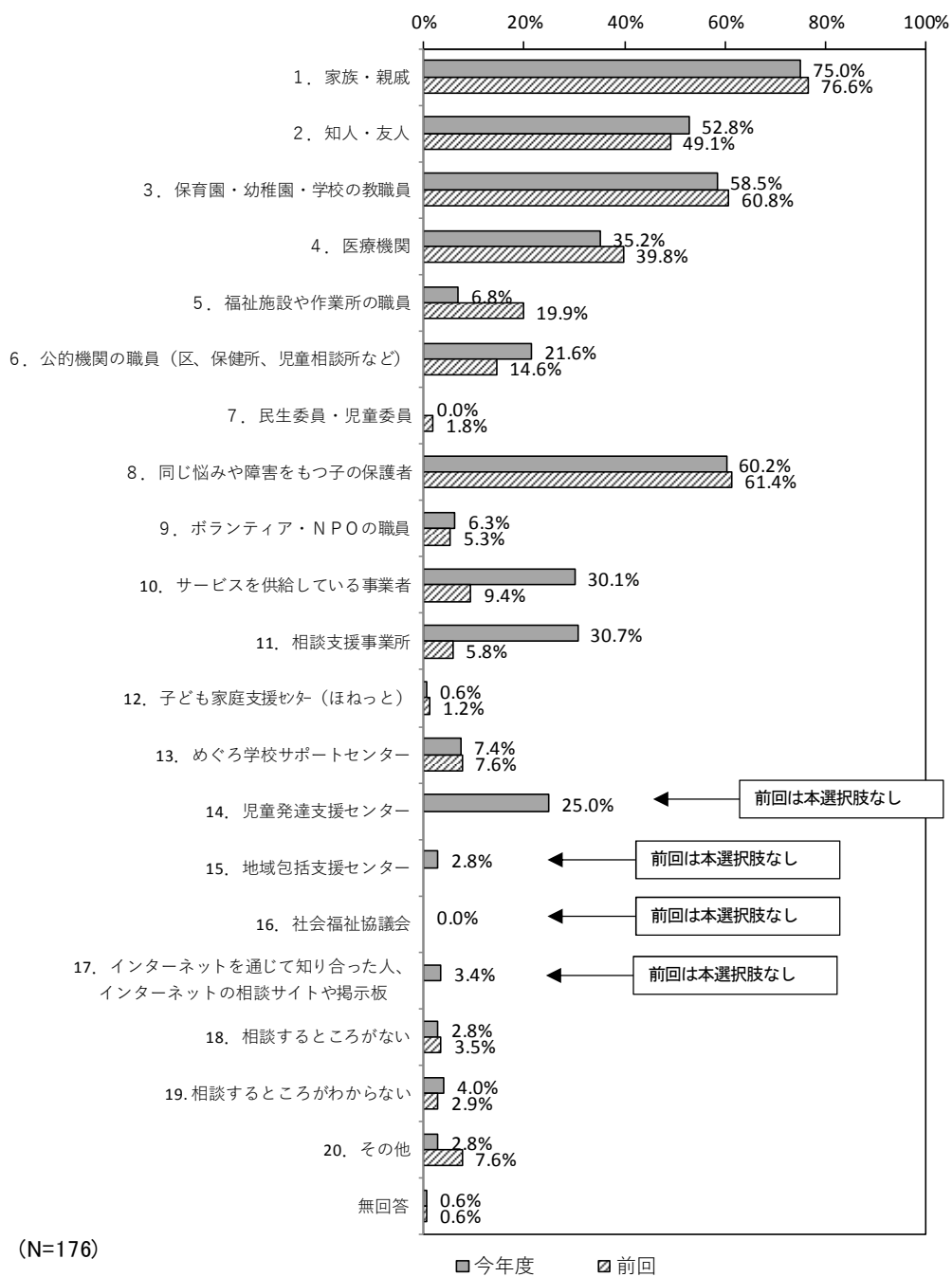
		回答者数	1. お子さんの進学のこと	2. お子さんの就職のこと	3. お子さんの結婚のこと	4. 友人や仲間、理解者がいるか	5. 自立した生活ができるか	6. 親が亡くなった後の住まいについて	7. 親が亡くなった後の生活の経済的な保証について	8. 親が亡くなった後の介護者について	9. その他	無回答
児童	人数	176	114	132	73	112	131	119	128	99	7	3
	構成比		64.8%	75.0%	41.5%	63.6%	74.4%	67.6%	72.7%	56.3%	4.0%	1.7%

問27 お子さんのことで悩んでいることや困っていることについて、相談するのは誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 知人・友人 |
| 3. 保育園・幼稚園・学校の教職員 | 4. 医療機関 |
| 5. 福祉施設や作業所の職員 | 6. 公的機関の職員（区、保健所、児童相談所など） |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. 同じ悩みや障害をもつ子の保護者 |
| 9. ボランティア・NPOの職員 | 10. サービスを供給している事業者 |
| 11. 相談支援事業所 | 12. 子ども家庭支援センター（ほねっと） |
| 13. めぐる学校サポートセンター | 14. 児童発達支援センター |
| 15. 地域包括支援センター | 16. 社会福祉協議会 |
| 17. インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板 | 18. 相談するところがない |
| 19. 相談するところがわからない | 20. その他 |

相談先は「家族」「同じ悩みや障害をもつ子の保護者」「教職員」など身近な相手

お子さんのことで悩んでいることや困っていることについての相談先については、「家族・親戚」が約75%で最も多く、次いで「同じ悩みや障害をもつ子の保護者」が約60%、「保育園・幼稚園・学校の教職員」が約59%、「友人・知人」が約53%となっています。



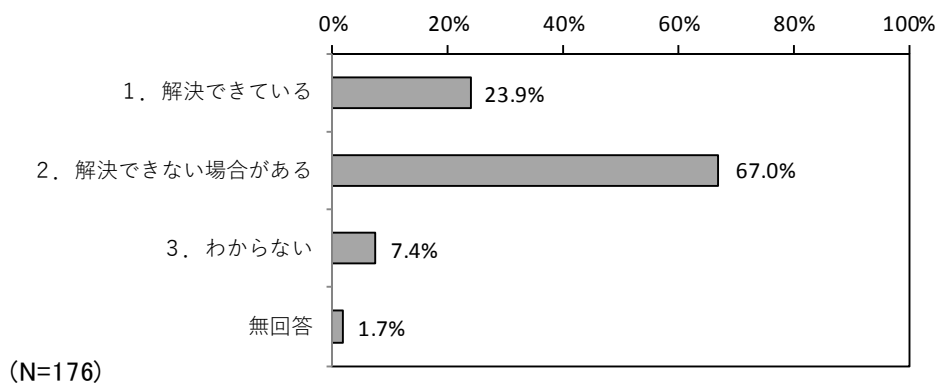
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	無回答	
回答者数		176	132	93	103	62	12	38	0	106	11	53	54	1	13	44	5	0	6	5	7	5	1
児童	人数	176	132	93	103	62	12	38	0	106	11	53	54	1	13	44	5	0	6	5	7	5	1
	構成比		75.0%	52.8%	58.5%	35.2%	6.8%	21.6%	0.0%	60.2%	6.3%	30.1%	30.7%	0.6%	7.4%	25.0%	2.8%	0.0%	3.4%	2.8%	4.0%	2.8%	0.6%

問28 問27で回答した相談先に相談することで、悩みや困ったことは解決できていますか。(1つに○)

1. 解決できている
2. 解決できていない場合がある
3. わからない

「解決できない場合がある」が約67%

相談することによる悩みや困ったことの解決状況については、「解決できている」が約24%、「解決できない場合がある」が約67%となっています。



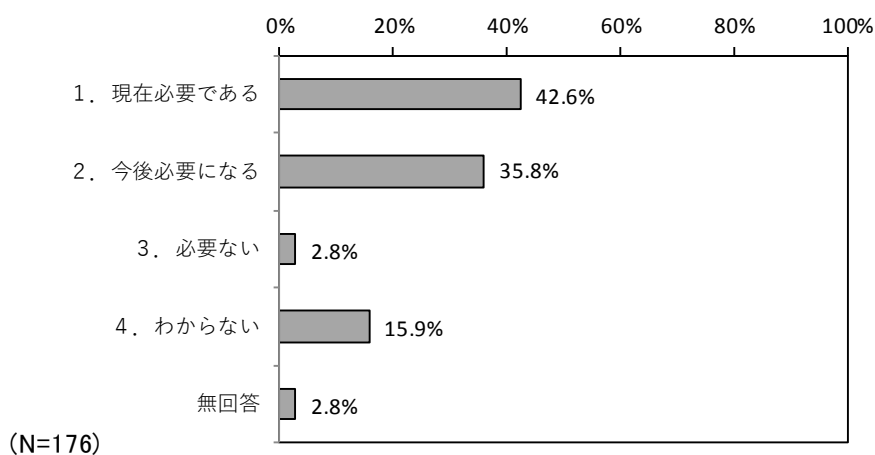
		回答者数	1. 解決できている	2. 解決できない場合がある	3. わからない	無回答
児童	人数	176	42	118	13	3
	構成比		23.9%	67.0%	7.4%	1.7%

問 29 保護者や家族への支援は必要ですか。(1つに〇)

1. 現在必要である
2. 今後必要になる
3. 必要ない
4. わからない

「現在必要」「今後必要になる」が約78%

保護者や家族への支援については、「現在必要である」が約43%、「今後必要になる」が約36%となっています。



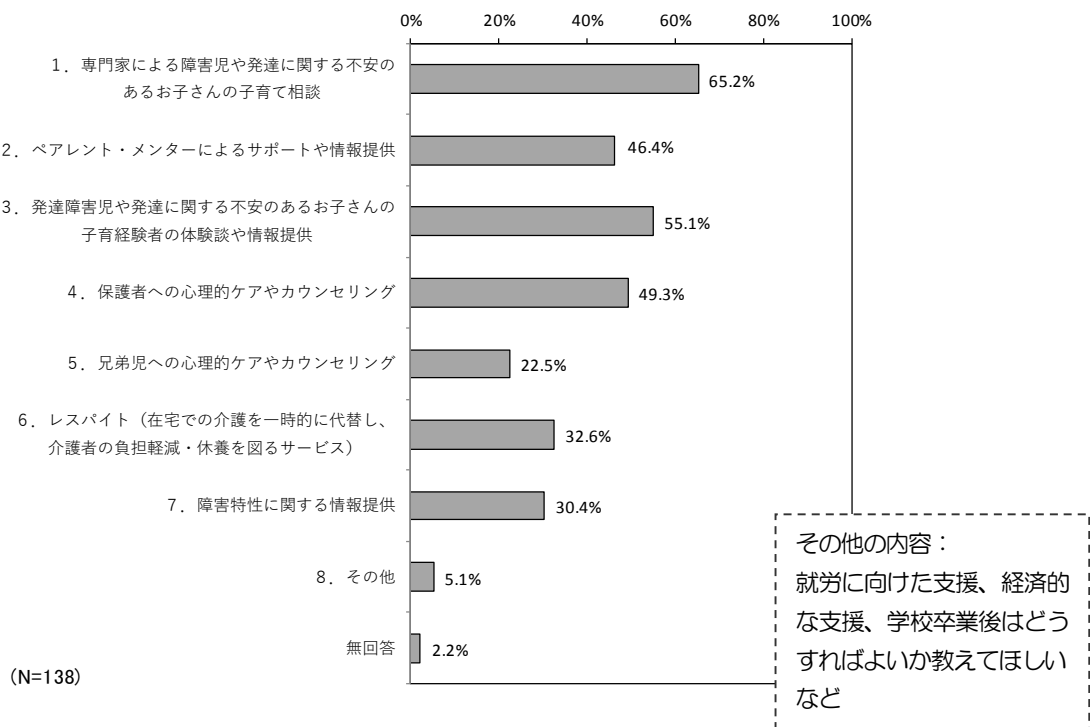
		回答者数	1. 現在必要である	2. 今後必要になる	3. 必要ない	4. わからない	無回答
児童	人数	176	75	63	5	28	5
	構成比		42.6%	35.8%	2.8%	15.9%	2.8%

問30 問29で「1. 現在必要である」または「2. 今後必要になる」と回答した方にのみうかがいます。どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 専門家による障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談
2. ペアレント・メンターによるサポートや情報提供
3. 発達障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て経験者の体験談や情報提供
4. 保護者への心理的ケアやカウンセリング
5. 兄弟児への心理的ケアやカウンセリング
6. レスパイト（在宅での介護を一時的に代替し、介護者の負担軽減・休養を図るサービス）
7. 障害特性に関する情報提供
8. その他

「専門家の子育て相談」が約65%、「子育て経験者の情報提供」が約55%

必要な保護者への支援については、「専門家による障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談」が約65%で最も多く、次いで「発達障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て経験者の体験談や情報提供」が約55%となっています。専門家または経験者への相談や情報提供が求められていることがわかります。



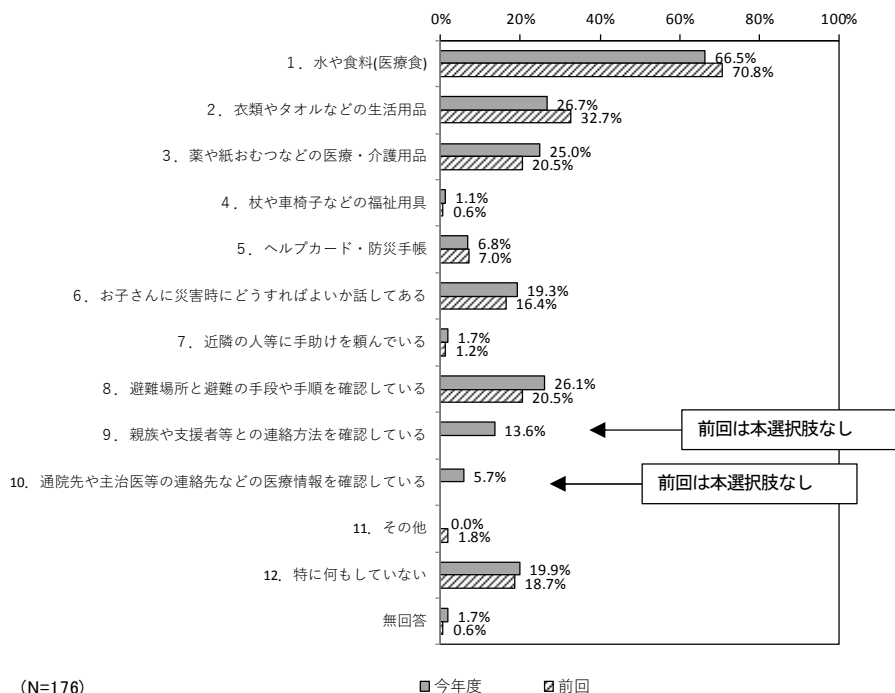
		回答者数	1. 専門家による障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談	2. ペアレント・メンターによるサポートや情報提供	3. 発達障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て経験者の体験談や情報提供	4. 保護者への心理的ケアやカウンセリング	5. 兄弟児への心理的ケアやカウンセリング	6. レスパイト	7. 障害特性に関する情報提供	8. その他	無回答
児童	人数	138	90	64	76	68	31	45	42	7	3
	構成比		65.2%	46.4%	55.1%	49.3%	22.5%	32.6%	30.4%	5.1%	2.2%

問31 災害が起こった時に備え、準備しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 水や食料(医療食)
2. 衣類やタオルなどの生活用品
3. 薬や紙おむつなどの医療・介護用品
4. 杖や車椅子などの福祉用具
5. ヘルプカード・防災手帳
6. お子さんに災害時にどうすればよいか話してある
7. 近隣の人等に手助けを頼んでいる
8. 避難場所と避難の手段や手順を確認している
9. 親族や支援者等との連絡方法を確認している
10. 通院先や主治医等の連絡先などの医療情報を確認している
11. その他
12. 特に何もしていない

「水や食料(医療食)」が約67%、「何もしていない」が約20%

災害に備え準備しているものについては、「水や食料(医療食)」が約67%で最も多く、次いで「衣類やタオルなどの生活用品」が約27%、「避難場所と避難の手段や手順を確認している」が約26%、「薬や紙おむつなどの医療・介護用品」が約25%となっています。一方で、「特に何もしていない」は約20%となっています。



(N=176)

■今年度 □前回

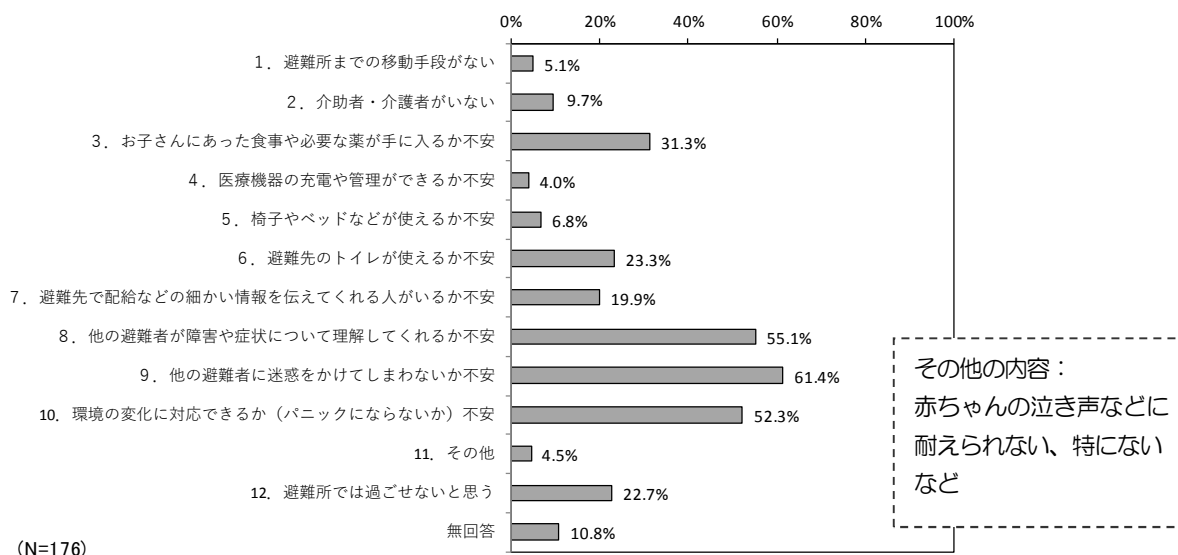
児童	回答者数		1. 水や食料(医療食)	2. 衣類やタオルなどの生活用品	3. 薬や紙おむつなどの医療・介護用品	4. 杖や車椅子などの福祉用具	5. ヘルプカード・防災手帳	6. お子さんに災害時にどうすればよいか話してある	7. 近隣の人等に手助けを頼んでいる	8. 避難場所と避難の手段や手順を確認している	9. 親族や支援者等との連絡方法を確認している	10. 通院先や主治医等の連絡先などの医療情報を確認している	11. その他	12. 特に何もしていない	無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	
	176		117	66.5%	47	26.7%	44	25.0%	2	1.1%	12	6.8%	34	19.3%	3	1.7%

問 32 災害等により避難所で生活することになった場合、不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 避難所までの移動手段がない
2. 介助者・介護者がいない
3. お子さんにあった食事や必要な薬が手に入るか不安
4. 医療機器の充電や管理ができるか不安
5. 椅子やベッドなどが使えるか不安
6. 避難先のトイレが使えるか不安
7. 避難先で配給などの細かい情報を伝えてくれる人がいるか不安
8. 他の避難者が障害や症状について理解してくれるか不安
9. 他の避難者に迷惑をかけてしまわないか不安
10. 環境の変化に対応できるか（パニックにならないか）不安
11. その他
12. 避難所では過ごせないと思う

「他の避難者に迷惑をかけてしまわないか不安」が約61%

災害等により避難所で生活する場合に不安に思うことについては、「他の避難者に迷惑をかけてしまわないか不安」が約61%、「他の避難者が障害や症状について理解してくれるか不安」が約55%、「環境の変化に対応できるか不安」が約52%となっており、物資やハード面の不安よりも、他の避難者との関係に対する不安が大きいことがわかります。また、「避難所では過ごせないと思う」が約23%となっています。



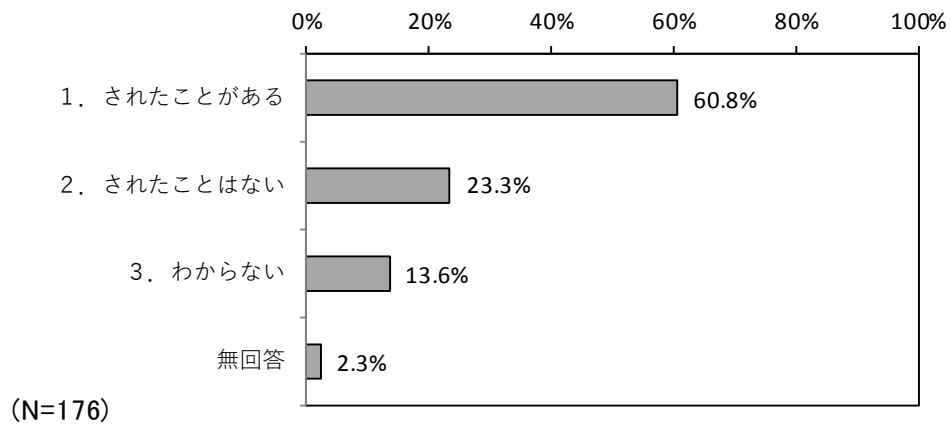
	回答者数	不安の内容												無回答	
		1. 避難所までの移動手段がない	2. 介助者・介護者がいない	3. お子さんにあった食事や必要な薬が手に入るか不安	4. 医療機器の充電や管理ができるか不安	5. 椅子やベッドなどが使えるか不安	6. 避難先のトイレが使えるか不安	7. 避難先で配給などの細かい情報を伝えてくれる人がいるか不安	8. 他の避難者が障害や症状について理解してくれるか不安	9. 他の避難者に迷惑をかけてしまわないか不安	10. 環境の変化に対応できるか（パニックにならないか）不安	11. その他	12. 避難所では過ごせないと思う		
児童	人数	176	9	17	55	7	12	41	35	97	108	92	8	40	19
	構成比		5.1%	9.7%	31.3%	4.0%	6.8%	23.3%	19.9%	55.1%	61.4%	52.3%	4.5%	22.7%	10.8%

問33-1 これまでに障害や病気を理由として差別をされたと感じたことはありますか。(1つに○)

1. されたことがある
2. されたことはない
3. わからない

「されたことがある」が約61%、「されたことはない」が約23%

障害や発達の不安を理由とした差別の経験については、「されたことがある」が約61%、「されたことはない」が約23%となっています。



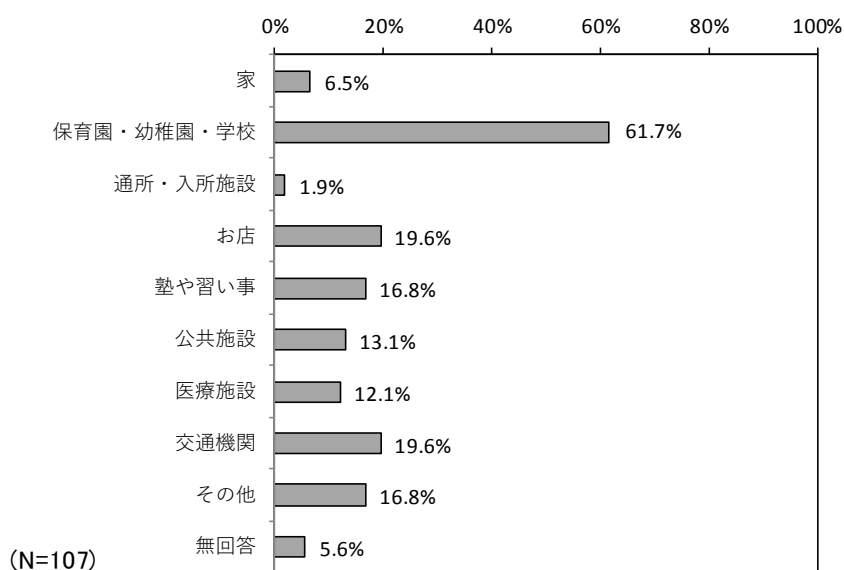
		回答者数	1. されたことがある	2. されたことはない	3. わからない	無回答
児童	人数	176	107	41	24	4
	構成比		60.8%	23.3%	13.6%	2.3%

問33-2 どこで差別をされましたか。(あてはまるものすべてに○)

家／保育園・幼稚園・学校／通所・入所施設／お店／塾や習い事／公共施設／医療施設／交通機関／その他

「保育園・幼稚園・学校」が約62%

差別をされた場所については、「保育園・幼稚園・学校」が約62%と最も多く、次いで「お店」「交通機関」がともに約20%となっています。



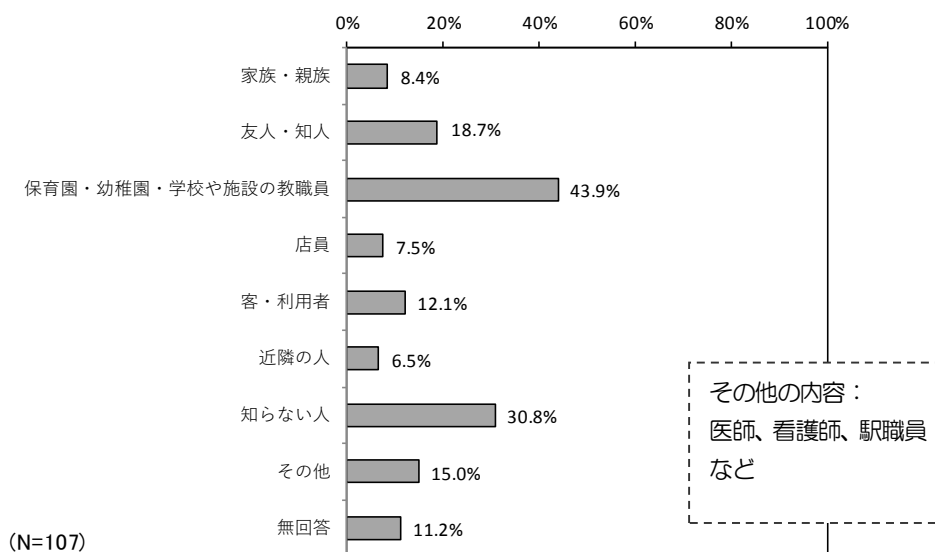
		回答者数	家	保育園・幼稚園・学校	通所・入所施設	お店	塾や習い事	公共施設	医療施設	交通機関	その他	無回答
児童	人数	107	7	66	2	21	18	14	13	21	18	6
	構成比		6.5%	61.7%	1.9%	19.6%	16.8%	13.1%	12.1%	19.6%	16.8%	5.6%

問 33-3 誰から差別をされましたか。(あてはまるものすべてに○)

家族・親族／友人・知人／保育園・幼稚園・学校や施設の教職員／店員／客・利用者／近隣の人／知らない人／その他

「保育園・幼稚園・学校や施設の教職員」が約44%

差別をされた相手については、「保育園・幼稚園・学校や施設の教職員」が約44%で最も多く、次いで「知らない人」が約31%となっています。



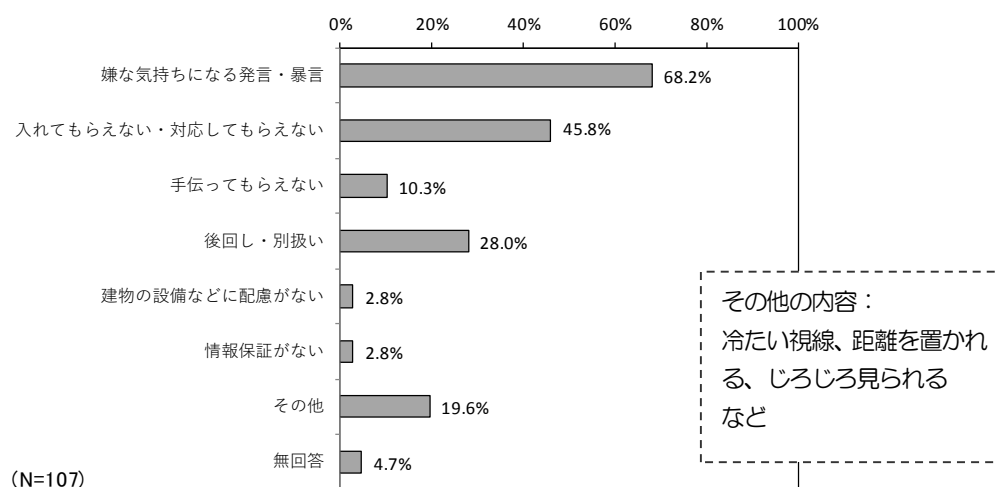
		回答者数	家族・親族	友人・知人	保育園・幼稚園・学校や施設の教職員	店員	客・利用者	近隣の人	知らない人	その他	無回答
児童	人数	107	9	20	47	8	13	7	33	16	12
	構成比		8.4%	18.7%	43.9%	7.5%	12.1%	6.5%	30.8%	15.0%	11.2%

問33-4 どのような差別をされましたか。(あてはまるものすべてに○)

嫌な気持ちになる発言・暴言／入れてもらえない・対応してもらえない／手伝ってもらえない／後回し・別扱い／建物の設備などに配慮がない／情報保証がない／その他

「嫌な気持ちになる発言・暴言」が約68%

差別の内容については、「嫌な気持ちになる発言・暴言」が約68%で最も多く、次いで「入れてもらえない・対応してもらえない」が約46%となっています。



(N=107)

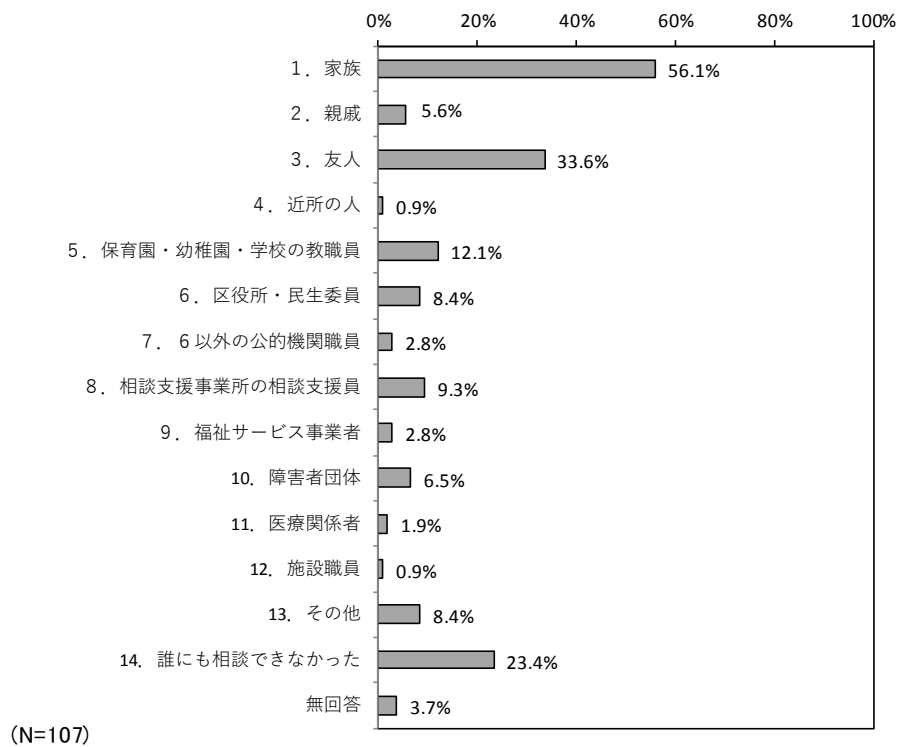
	回答者数	嫌な気持ちになる発言・暴言	入れてもらえない・対応してもらえない	手伝ってもらえない	後回し・別扱い	建物の設備などに配慮がない	情報保証がない	その他	無回答
		人数	107	73	49	11	30	3	3
構成比		68.2%	45.8%	10.3%	28.0%	2.8%	2.8%	19.6%	4.7%

問34 差別されたと感じたとき、誰、またはどんなところに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 家族 | 2. 親戚 |
| 3. 友人 | 4. 近所の人 |
| 5. 保育園・幼稚園・学校の職員 | 6. 区役所・民生委員 |
| 7. 6以外の公的機関職員 | 8. 相談支援事業所の相談支援員 |
| 9. 福祉サービス事業者 | 10. 障害者団体 |
| 11. 医療関係者 | 12. 施設職員 |
| 13. その他 | 14. 誰にも相談できなかった |

「家族」が約56%、「友人」が約34%

差別されたときの相談先については、「家族」が約56%と最も多く、次いで「友人」が約34%となっています。一方、「誰にも相談できなかった」は約23%となっています。



		回答者数	1. 家族	2. 親戚	3. 友人	4. 近所の人	5. 保育園・幼稚園・学校の教職員	6. 区役所・民生委員	7. 6以外の公的機関職員	8. 相談支援事業所の相談支援員	9. 福祉サービス事業者	10. 障害者団体	11. 医療関係者	12. 施設職員	13. その他	14. 誰にも相談できなかった	無回答
児童	人数	107	60	6	36	1	13	9	3	10	3	7	2	1	9	25	4
	構成比		56.1%	5.6%	33.6%	0.9%	12.1%	8.4%	2.8%	9.3%	2.8%	6.5%	1.9%	0.9%	8.4%	23.4%	3.7%

(2) 自由意見

項目	主なご意見
支援・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスや移動支援が、利用したい時に使えなかった ・利用者に対して差別がある、支援が不十分である事業者がある。質の高いサービスを提供できる事業所がもっと増えてほしい ・重症心身障害児（医ケアを含む）の放課後等デイサービス、日中一時支援の場を是非設けてほしい ・訪問籍児童生徒のための集団活動の場の整備 ・未就学の肢体不自由児対象の児童発達支援の整備 ・障害の度合いが重く、長時間の外出はトイレ介助などが1人ではできず、一回にお願いできる時間に限りがあるため困っている ・本当に支援が必要な子を優先するべき。ボーダーや軽度の子などの再調査、再確認はする機会が得られないのか ・いわゆるグレーゾーンに属しているため、支援がなかなか受けられない ・卒業後、学齢期後の障害を持った方達への余暇活動の場が少ない
教育・療育	<ul style="list-style-type: none"> ・療育施設、区立幼稚園を増やしてほしい ・学習支援やSSTなど療育的要素のある事業所を増やしてほしい ・言語訓練を行う施設が目黒区には全くない ・小学校の特別支援学級と通常学級をもっと柔軟に選べる様にしてほしい ・私立、公立ともに幼稚園の入園が難しい ・幼稚園・小学校等、本人・家族の希望する環境で健常児と平等に受けさせてほしい
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者専用の遊具施設等がもっとあればよい ・グループホームが少しずつ増えているが、まだ数が足りない
支援者・サービス提供者・教諭・教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・施設によって内容や職員のスキルが異なる ・支援学級で、特性の強いお子さんを擁護し、周りのお子さんへの配慮が後回しになっているように感じる ・ヘルパーや施設の職員から配慮のない発言があるなど、不適切な対応があった ・教職員の知識向上を求める。全ての幼稚園・小学校に勉強会の案内、1人以上の出席を奨励してほしい
保護者・家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学してからは、家で勉強をみてやる時間が必須となるので、フルタイムで両親が働く場合、平日の家事代行のサービスがほしい ・フルタイムで仕事をしたいので、移動支援とデイサービスの両立、親不在時のヘルパーによる入浴などができるようになってほしい ・兄弟児と一緒に預かってくれるところがほしい ・発達障害は見た目で分かりにくい為、なかなか子育ての苦労が理解されにくい。弱音を吐き出す場があまりない
医療・医療的ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアのある子が、区内で生活しやすいように利用できるサービスや施設を充実させてほしい ・医療的ケアがあると特別支援学校の通学バスに乗れず、学校でも親の付き合いが必要。学校に通うとなると高額な介護タクシー代を支払って行くしかないため、結局、1週間に3回、1回2時間の訪問授業を受ける訪問生にしかならず、これでは教育課程をこなせる訳がない
相談	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所に相談に行ってもどんな支援があるのか大変わかりづらいので、窓口をひとつにしてほしい

項目	主なご意見
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・区が提供する情報量が少なく、必要な情報が得られないことが多いし、対応が遅い。このアンケートも何年も回答しているが、状況が改善されたり、施策に反映されているという実感が持てない ・仕事をしていても、区役所へ直接行ったり電話する以外の手段で調べたりできるとよい ・「障害者福祉のしおり」が新しい物になったら教えてほしい。この冊子はとても役立つが、就学中の我が子が、卒業したあとどう生活していったらいいかなどの情報を得たい ・これから障害者を取りまく環境がどうなるのかなど勉強会や情報交換会を行ってほしい。専門家の方のお話しも聞きたいが、先輩保護者など実際の生活についても伺いたい
利用料	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーを病気でキャンセルした際のキャンセル料が高額 ・移動にタクシーを使いたいが高額 ・療育に通うにしても障がいを持った子がいると両親のどちらかは仕事を休む（やめる）必要があり、その際の家庭での収入が大きく減ってしまい経済的に困る
就労	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人が働ける作業所をもっと増やしてほしい ・就労は作業所になるかと考えているが、その場合午後4時半ごろに終わると聞いているので、それからの時間をどう過ごせばよいのか心配
理解・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のない子供達に、障害のある子供達がみんなと同じように家で家族と過ごし、学校で学んでいることをもっと知ってもらいたい ・親の意識改革が必要である。多種多様な人間がいる事を親自身が受け入れ理解しないととても不寛容な社会ができてしまう ・小学校内での通常学級との関わりが薄い ・軽度の障害なので理解されにくい
防災・災害	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、取り残されてしまうことがとても不安。もう少し具体的に、支援体制を個別的に明確にしてほしい ・じっとしていられなくて歩きまわったりしてしまうので、一般の人と一緒に避難所では過ごせない。考えただけで不安
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てが大変なのは障害だからなのか、個性の範囲なのか、しつけが悪いのか、それがあいまいなため方向性を定める事ができない事が不安 ・親の死後の入所先は、どこも相談に乗ってくれない